

**観葉から水耕野菜づくりに転進！**

今月は本年2月開港した中部国際空港から車で約20分、愛知県知多市の竹内誉人(しげと)さんをお訪ねしました。お父さんはフキを中心とした専業農家として現在も活躍されていますが、誉人さんは農業大学卒業後農業を継ぐ条件として自分は自分のスタイルで施設利用の観葉植物栽培を選択されました。以来10数年継続されてこられました。昨今の価格低迷は目に余るものがあり観葉からの撤退を決断され本年水耕による葉菜栽培に転換されたものです。ハウスは従来施設活用、半分に水耕栽培施設(450坪)を民間リース活用の自己資

金で建設されたものです。7月始めから収穫に入り、現段階で3回転したとのこと。観葉では年2作とか2年で1作とか回転が遅い。この回転率の良さが水耕に決めた大きな理由とか。もう一つの要因は野菜は食べ物、観葉だと1年も2年もあるが野菜は食べるとなくなり、リピート率が高いし、鑑賞用に出費は抑えても食べ物はそうはいかない構図がある。こんなことから転作を決断したのだが、方向性は間違っていなかったように思う・・・と語っていただきました。栽培品目は全量フリル系レタスで契約栽培形態。将来は残っている温室半分に増設するなど規模

拡大も考えていきたいとのこと。今後の農業経営を考えると規模拡大は避けて通れない路線、そういう観点で今回利用した民間リースは便利な方法であるとお話も。近代化資金、後継者資金などの制度資金は制約が多くて不便、例えば申請段階で花だったら野菜に変えたくても「イカン」と言われ作目変更できないなど縛りがキツイ側面がある・・・などなど違う畑から水耕に来て感じることを熱っぽく語っていただきました。若さ(34才)と情熱で今後にますます期待が持てる頼もしさを感じられる竹内さん。ご活躍を祈念しております。(担当 川村庄一)

